

金田一春彦ことばの学校

～ことばの杜を歩こう～



1) ことばの楽しさを伝える

「金田一春彦記念図書館」は、国語学者の金田一春彦先生が所有していた蔵書 2 万冊あまりを旧大泉村(現北杜市)に寄贈したことをきっかけに、平成 10 年に建設されたもので、氏の功績を後世に伝えるため、図書館には「金田一春彦ことばの学校資料館」が併設され、蔵書を広く公開しています。

言葉の楽しさを学ぶ「ことばの学校」は、この「ことばの資料館」を母体として、平成 12 年 11 月に金田一春彦先生を学校長に迎えて始まりました。毎年多くの方が参加する事業として、10 年以上に渡って継続実施されてきた伝統事業「金田一春彦ことばの学校」を国民文化祭北杜市主催事業と位置付けました。

方言川柳応募者：大人 983 名、子ども 1,501 名

合計 2,484 名

2) さらなる継続発展へ (H24 年プレ事業)

「金田一春彦ことばの学校」は、豊かな自然景観と文化の香り高い北杜市から日本語のすばらしさを広く発信するため、全国各地の方言を取り入れた川柳を募集し、ふるさとのお国ことばが持つ味わいを、ユーモラスな五七五で表現することにより、日本語の再発見と新たな創造を目指して毎年開催しています。このようなことから「第 13 回金田一春彦ことばの学校」をプレ事業として開催しました。

伝統事業と国民文化祭の相互連携で行われたプレ事業は、例年以上の方言川柳の募集があり、アトラクションなど特色ある事業を展開し「ことばと文化」を考える良い機会となりました。

9 月 1 日：第 13 回金田一春彦ことばの学校：270 名参加



《方言川柳授賞式》



《講演・金田一秀穂氏》



《方言教室》



《野口雨情を愛した理由》



《昼食会場》



3) 方言っておもしろいじゃんね (H25 年本大会)

金田一春彦先生の生誕 100 周年を記念した「第 14 回金田一春彦ことばの学校」は、ことばに関心をもつ意欲をもってもらえるような素晴らしい事業となりました。

1 校時から 4 校時にかけて様々な催しを開催し、言葉と文化について楽しく遊びながら学び、地元の人々の心と心をつなげることを心掛けました。

本事業への周知と誘客については、国民文化祭や実行委員のもつ情報網の活用、ホールにおける「舟を編む」の映画上映などでも力をいれました。その効果として、方言川柳の応募総数が、プレ事業の応募を大幅に上回り、会場も満席状態となりました。

9 月 7 日：第 14 回金田一春彦ことばの学校：457 名参加



《カルチャくんお出迎え》



《図書閲覧コーナー》

《二校時：心に響く子守歌》

《一校時：方言川柳授賞式》



《大泉民謡愛好家》



《縁古節》

《三校時：三浦しをんさんを囲んで》



《『舟を編む』に描かれた誰も知らない辞書の話》

《四校時：講演 金田一秀穂氏》



《辞書についてのあれこれ》



《昼食会場》

～名産・特産品～



《サイン会場》



《人気のカルチャくん》

方言川柳応募者：大人 3,010 名、子ども 1,510 名 合計 4,520 名

4) 「ことばと文化」

国民文化祭を契機に「金田一春彦ことばの学校」が全国に発信され、「ことばと文化」を生かした特色ある事業として知名度もあがりました。10 年以上に渡って継続実施されている伝統事業として、今後も、「ことばの持つ楽しさ」を後世に伝えていきます。